

部落差別解消推進法を実効性のあるものへ

第66回 全国大会開催



5月14日、都内で「全日本同和会第66回全国大会」が開催された。全国各地から幹部や指導者・会員900名以上が参集、国会議員をはじめ多くの来賓、行政関係者を迎えて開催された大会は、同和問題の完全解決に向けた新たな歴史の1ページを刻んだ。

第66回全国大会は、文京区文京シビック大ホールにて行われた。都連からは古賀会長をはじめ、都連役員や各支部員、企業会員、行政担当者ら多くが参集し、大会に臨んだ。



■全国会長挨拶
松尾 信悟全国会長

昨今では、インターネットを悪用し、新たな問題となつていきます。国は平成28年12月16日に「部落差別の解消の推進に関する法律」を施行し10年目を迎えました。これまで以上に国及び地方公共団体に対し、啓発、教育の推進、相談体制の充実等、同和問題の解決に向けた取り組みを進めていく必要があります。

これまでの同和教育で積み上げてきた成果と手法を基に、あらゆる差別を無くし、人々の人権尊重の意識を高めることが重要です。

(要旨)



荒井正記全国副会長

(大阪府連会長)が開会の辞で、「同和問題を解決するためには、国・地方公共団体が積極的に取り組むことで、問題が解決できる。そのためには、提言活動が必要で、我々は提言活動を通して、理念法といわれる部落差別解消推進法を、実効性のあるものにしてゆく運動に邁進してゆかなければならない。そして、部落差別解消推進法の条例化、

続いて山本良治全国副会長(埼玉県連会長)を大会運営委員長として、全国各ブロックより10名を運営委員に選出し、別室にて協議がなされた。

次いで、松尾信悟全国会長が挨拶に立ち、同和問題は今なお私たちの社会に残る人権問題とし、これまで同和対策特別措置法に基づき、さまざまな取組がなされたことに言及。しかし未だに結婚や就職問題を中心とする心理的差別は、後を絶たないと訴えた。

全日本同和会は昭和35年の結成以来、今日まで「子らにはさせまいこの思い」をスローガンに、運動を推進してきた。今後、創立の原点に立ち返り襟を正し自己の役割と使命感を深く自覚し、同胞一和の精神をもつて運動を継続してゆかなければならないと訴えた。(別欄に要旨)



石戸俊也全国教育対策委員長

政府から独立した国内人権機関の設置、人権擁護救済法の制定を強く求めてゆかなければならない。これらの実現は、同和問題解決に間違いなく大きく寄与する」と、力強く宣言した。



大勢の参加者が記帳する都連受付



山本良治全国副会長

大会成立を宣言した。

来賓として、武田良太衆議院議員、黒崎祐一衆議院議員、福岡県人権・同和対策局長浦田明人氏より祝辞を賜った。(武田議員、黒崎議員、浦田氏の祝辞は2面に要旨掲載)

祝電披露では、野間健衆議院議員、金子恭之衆議院議員、馬場成志参議院議員をはじめ多くの国会議員や地方議員、そして服部誠太郎福岡県知事をはじめ、



山本良治全国副会長

次いで、山本良治大会運営委員長(全国副会長)が協議及び動員集計を行った結果を発表、

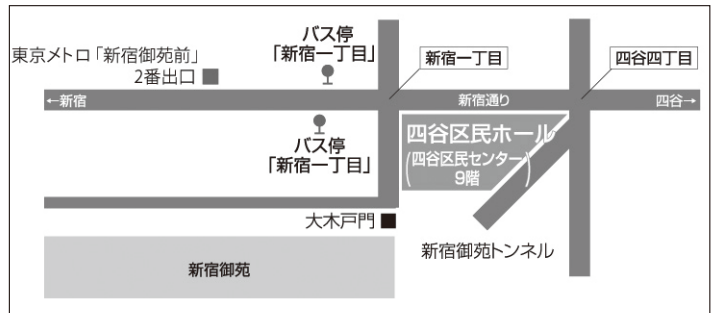


全日本同和会 東京都連合会 令和八年度 研修大会

- 開催日時：令和8年9月14日(月)
- 開催場所：新宿区立四谷区民ホール(四谷区民センター 9階)〈新宿区内藤町87(地図参照)〉
- 受付：午前 9時45分
- 開会：午前10時30分
※閉会予定 午後0時30分頃
- 基調講演：元プロボクサー 真道 ゴー 氏(予定)
〈第5代WBC女子世界フライ級チャンピオン〉
- 参加費：3,000円(資料含む)

ご参加をご希望されます方は、事務局または各支部長までお問い合わせ下さい

- 交通のご案内
- 地下鉄：東京メトロ丸ノ内線「新宿御苑前」2番出口(大木戸門)より徒歩5分
- 都バス：品97 新宿駅西口～品川車庫「新宿一丁目」下車



- 区民センター内に喫煙出来る場所はありません。新宿区は路上での喫煙が条例で禁止されています。また、施設周辺での路上喫煙(加熱式たばこを含む)は絶対にお止め下さい。
- 区民センター内に一般来場者用の駐車場はありません。周辺の時間貸し駐車場をご利用下さい。なるべく公共交通機関でご来場下さい。
- 区民センター正面を含め、周辺道路での長時間の車両待機は、お止め下さい。乗降が終了しましたら、速やかに移動して下さい。